

主な内容	
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2・3
主な質疑	4
令和元年度決算審査	4・5
9月定例会 議案等審議結果一覧	6



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行
那須烏山市議会
編集
議会広報委員会
事務局
☎0287-88-7114



卒業証書用の烏山和紙を漉く烏山高等学校の生徒たち

9月定例会が9月1日(火)に招集され、9月15日(火)までの15日間の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は6ページに掲載しています。

※議決された議案の内容など、詳しくは「広報なすからすやま第181号」をご覧ください。
会議録は市立図書館と市ホームページで閲覧できます。

一般質問議員と質問項目(質問順)

※赤字の項目は、本紙2・3ページに質問と答弁の内容を掲載していますので、そちらもご覧ください。

- 中山 五男 議員**
 - 1 税等未収金の徴収対策について
 - 2 自然災害の対応策について
 - 3 本市職場のテレワークについて
- 堀江 清一 議員**
 - 1 防災対策について
- 荒井 浩二 議員**
 - 1 キャッシュレス決済の導入と普及について
 - 2 市民と行政を繋ぐ連絡手段について
 - 3 本市職員の挨拶と接遇について

- 村上 進一 議員**
 - 1 第2期那須烏山市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 田島 信二 議員**
 - 1 新型コロナウイルスについて
 - 2 梨生産被害について
 - 3 主要農作物種子法の廃止について
 - 4 公共施設の跡地利用について
 - 5 道路拡幅工事の進捗状況について
- 矢板 清枝 議員**
 - 1 防災・減災対策について

- 青木 敏久 議員**
 - 1 「学生応援ふるさと便」の成果と課題について
 - 2 本市キャッチフレーズとシティプロモーションについて
 - 3 図書館利用向上と図書消毒機器の導入について
 - 4 拉致問題と人権教育について
- 平塚 英教 議員**
 - 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - 2 コロナ禍における学校教育について
 - 3 本市の農政対策について
 - 4 市営住宅の連帯保証人について
 - 5 旧境小学校跡地の活用について
- 小堀 道和 議員**
 - 1 長引く新型コロナウイルス対応について
 - 2 本市の農業を支援する地産地消向上について

- 福田 長弘 議員**
 - 1 観光における交通面の集客対応について



滝口貴史議員は9月2日に予定していた一般質問を取り下げたため、掲載しておりません。

議会の動き

- 令和2年7月
- 25日○議会だより第57号発行
 - 29日○議会運営委員会
 - 議員全員協議会
- 8月
- 25日○議会運営委員会
 - 議員全員協議会
 - 庁舎整備検討特別委員会
 - 議会広報委員会
- 9月
- 1日○議会運営委員会
 - 議員全員協議会
 - 第6回9月定例会(9月15日まで)
 - 3日○議会広報委員会
 - 4日○議会改革特別委員会
 - 8日○各常任委員会(9日まで)
 - 15日○議会運営委員会
 - 議員全員協議会
- 10月
- 9日○議会広報委員会
 - 16日○議会広報委員会
 - 20日○文教福祉常任委員会
 - 23日○議会運営委員会
 - 議員全員協議会
 - 第7回10月臨時会



令和2年9月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。

中山 五男 議員

税等未収金の徴収対策について

(問) 令和元年度決算書によると、市税など公金の滞納繰越額は6億5550万5千円で、不納欠損額4188万2千円を計上している。

さらに、本市が合併以来徴収を断念し、不納欠損とした公金は、市税・国保税・保育料・水道料金等を合わせ16億4940万4千円に上る。私には、これでもやむなしとは到底納得できない。

去る8月、新聞報道された、栃木県内市町村税徴収率一覧の中でも、本市は不名誉ながら群を抜いて、県下最下位の85.4%であった。

この記事を目にした善良な納税者は行政不信を抱くはずである。賦課した公金をなぜ徴収できないのか。
(答) 市税徴収率が県下最下位にあることは、大変残念であり誠に遺憾でもあ

る。徴収率を引き下げている大きな要因は、法人数社による固定資産税の大口滞納にある。これら大口滞納への不動産差押を執行済みであり、公売を検討している。

なお、固定資産税を除いた市県民税・国保税・水道料金等の徴収率は、県下でも上位にある。今後とも徴収率の向上を意識し、滞納整理には一層努力してまいりたい。

村上進一 議員

第2期那須烏山市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

(問) 第2期那須烏山市まち・ひと・しごと創生総合戦略は4つの基本目標があるが、そのなかで、「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る」について、現状と今後の取組について伺う。

(答) 人口減少、高齢化が予想されるなか、地域社会の活力を維持しつつ、市民の誰もが潤いのある豊かな生活を続けていけるようなまちづくりが求められる。また、台風等による豪雨災害が頻発化、激甚化しており、市民の生命や財産、安全・安心な暮らしを守るため、大規模自然災害への備えが大きな課題となっている。

今後の取組として、コンパクトシティを基本としたまちづくり、地域防災力の強化など5つの戦略を掲げている。主な取組として、

今年度策定する立地適正化計画や地域公共交通網形成計画に基づき、地域の特性、人口規模に見合ったコンパクトな都市の形成や、公共交通ネットワークの充実を図っていく。地域防災力の強化については、国土強靱化地域計画を今年度策定するとともに、自主防災組織の活動を強化するため、多方面での運営を支援してまいりたい。

青木敏久 議員

「学生応援ふるさと便」の成果と課題について

(問) 令和2年度那須烏山市障がい者優先調達推進方針が示されているが、送付に際して検討を加えられたのか伺う。

(答) 障がい者就労施設等で作られたクッキーなどは、良かったかもしれないが、割れてしまうリスクがあるので、検討には入れていなかった。今後、使用目的を示して、梱包についても丁寧に出来るよう改善して使っていきたい。

(問) 25都道府県から応募のあった学生たちを、なす



学生に送付した学生応援ふるさと便

から特派員のように、本市の魅力発信のツールとして活用できないか伺う。

(答) 学生応援ふるさと便を通してご縁が生まれたので、情報発信してくれる方がいれば対応したい。一番地元を知っている方々が全国に行っている。この関係を上手に使っていききたい。

本市キャッチフレーズとシティプロモーションについて

(問) キャッチフレーズは「五感で楽しむ那須烏山」なので、例えば、「星をつかまえられる 国見峠の展望台」「葉っぱがダンスしている 関東の嵐山落石」等、ストーリー性のあるコンテンツを創り、写真を添えて、展開していったらどうか伺う。

(答) 今後の課題にしたい。

福田長弘 議員

観光における交通面の集客対応について

(問) 那須烏山市の観光拠点の受け入れ態勢について伺う。



改修を行う前の龍門ふるさと民芸館駐車場

(答) 観光拠点における駐車場の状況については、山

あげ会館及び大金駅前観光交流施設では、おおむね充足しているが、年間4万人もの観光客が訪れる龍門ふるさと民芸館では駐車場の確保が十分とはいえない。

(問) 鉄道利用観光客の利便性に繋がる、交通系ICカードの導入に向けた取組について伺う。

(答) 本市では、栃木県及び県内市町と合同で実施しているJR東日本大宮支社への要望活動の中で、JR烏山線へのSuica導入を毎年要望しているとともに、市独自でも強く要望している。

また、利用向上対策として、那須烏山市民号を継続的に実施している。意識啓発の面では、職員の出張の際、回数券を購入し配布して利用促進を図っている。

利用向上が進まなければ、Suicaの導入以前に路線の存続が危うくなることも想定されるため、烏山線の利用向上対策に努め、Suica導入に向けた活動を継続的にしていく。

堀江清一 議員

防災対策について

(問) 今後も防災行政無線を維持する方向で考えていただきたいが、市長の考えを伺う。

(答) 平成30年度に市として方針を比較検討した結果、今のところ、防災行政



高瀬公民館付近に設置されている防災行政無線

無線の整備は考えていない。

(問) 防災Infoなすからすやま、戸別受信機の登録目標はどれくらいか。

(答) 防災Infoなすからすやまは2千〜3千件。戸別受信機は今年度で1千台配布を目標としている。

(問) 那須烏山市の人口約2万5千人のうち4千〜5千件の登録及び配布で十分とは思わない。考えを伺う。

(答) 十分かどうかと言われると十分ではないという認識はあるが、積極的に市のイベント等で周知していきたい。

(問) 大雨やゲリラ豪雨により道路等、冠水や浸水被害が起こる場所があるが、地図等を作成して、通行者や市民に知らせるはいいか。

(答) 冠水被害箇所の地図作成は市民の安全と安心を確保していく上で有効な手段と考えており、市のハザードマップの更新時期に合わせて冠水被害箇所を記載して、市民に周知していきたい。

渋井由放 議員

水道施設の管理について

(問) 烏山大橋に添架されている水道管が破損しており、台風19号の災害時に、境地区に送水ができなかった。橋梁添架されている水道管の管理方法について伺う。

(答) 添架されている水道管を含めた水道施設の管理方法は、平日2名の巡回員により路面の目視確認や施設点検、漏水調査専門業者による橋梁部分を含めた路面の目視調査や音聴装置による調査等を行っている。今後、費用対効果を鑑みながら、施設の適正な管理に努めてまいりたい。

(問) 東日本大震災で壊れていたと考えるのが順当である。水を張っていないから分かったかと思ふ。添架された目的は、境地区の水道施設が水害に遭った時、速やかに水を供給することだと思ふが見解を伺う。

(答) 送水管の配管については、そのとおりである。(問) 約3千万円をかけ添架したが、一度も使用しないで破損してしまつた。今後は、橋梁添架されている使用されていない水道管についても、うまく使用できるようにしていくのが良いと考えるが見解を伺う。

(答) そのとおりである。(問) せっかくお金をかけて添架するのであれば、利用することを考えていただきたい。



水道管が添架されている烏山大橋

田島信二議員

新型コロナウイルスについて

(問) 小中学校へのサーマルカメラ導入について伺う。

(答) 固定、移動タイプと種類が多様であり、金額も様々であるため活用方法を含め、調査研究し検討する。

梨生産被害について

(問) 悪天候による被害が大きく、各品種ともに50%収穫減少が予想される。生産農家への国、県、市の支援策について伺う。

(答) 4月中旬の低温、晩霜による被害が出ている。農業被害にあたる30%以上の被害面積は26・2畝であり、被害総額は約2億円前後と想定している。栃木県農漁業災害対策特別措置条例に基づき、助成措置を決定した。梨の生産維持、増進を目的とした助成と、経営資金の融通を円滑にすることを目的とした災害経営資金利子補給、また、園芸共済や収入保険加入者に

は、共済金の支払いが行われる。本市においても被害農家38戸に対し、病害虫防除に対応する農薬購入費補助として、65万2千円を9月補正予算に計上した。



被害にあった梨(6月時点)

公共施設跡地利用について

(問) 七合保育園、境診療所が閉鎖されたが、今後の跡地利用について伺う。

(答) 七合保育園は、公有財産管理運用委員会と協議検討する。境診療所は今年度中に解体予定であったが、当面の間、災害時用の物資及び境地区の選挙投票物品の倉庫として活用したいと考えている。また、避難所としての使い方も検討したい。

平塚英教議員

新型コロナウイルス感染症対策について

(問) 市の当初予算に計上した各事業や各種団体等のイベント等への市補助事業の中で、新型コロナウイルスの影響による中止や次年度へ繰り越す事業内容、予算執行等の対応策をどのように図っているか。

(答) 8月14日時点の状況

で、全庁的には68事業が中止を余儀なくされており、現計の予算の全部もしくは一部として約4500万円が未執行の状況である。代表的なものとしては山あげ祭や市民秋まつり、消防操法大会、中学生海外派遣事業、市民マラソン大会など中止を決定した。今後の対応については、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を注視するとともに、各事業やイベントの実行委員会等でそれぞれ検討することになるが、実施に当たっては新しい生活様式を踏まえて、十分な感染防止策を講じることが重要である。

各事業やイベント等の実施が、地域経済活性化回復の面からも効果が期待されており、次年度に向けては十分な検討を踏まえ、実施に向けて準備を進めてまいりたい。

市民と行政を繋ぐ連絡手段について

(問) 普段からの円滑な情報共有が求められる中、市民と行政とを繋ぐ連絡網の構築についての考えを伺う。

(答) 全国的にも幅広い年代で利用されているLINEの、地方公共団体サービスが無償化されたことに伴い、本市でも導入に向けて検討している。

本市職員の挨拶と接遇について

(問) 業務上の接遇スキルについて様々な意見が寄せられているが、本市職員の接遇教育について伺う。

(答) 市役所に対する評価に直結することから、接遇能力の向上は重要な課題である。職員は採用当初から研修を受講するなど、意識付け、スキルアップに努めており、今後も職員への指導と意識啓発を図っていく。

荒井浩二議員

キャッシュレス決済の導入と普及について

(問) 市税等の収納及び支出業務へのキャッシュレス利用の拡充について伺う。



昨年実施された市民秋まつり「花火大会」

矢板清枝議員

防災・減災対策について

(問) 現在の指定避難所数、事前設置避難所数について伺う。

(答) 市が指定する避難所は40カ所ある。そのうち、事前設置避難所は、保健福祉センター、江川小学校体育館、烏山体育館及び烏山公民館、七合小学校、旧向田小学校、境公民館の6カ所である。

長引く新型コロナウイルス対応について

(問) 新型コロナウイルスで最も懸念すべき事態は医療や介護施設でのクラスター発生である。最も命に関わる医療施設や介護施設のスタッフへの定期的なPCR検査について安倍首相が実施を表明したが、実現には時間がかかるので、本市が先駆けて実施してはどうか。また、医療施設や介護施設に感染者が出た場合に、責任者から接触者レベルへのPCR検査の支援依頼があったときに、本市独自に費用負担する制度を検討してはどうか。

(答) 長期化が予想される新型コロナウイルスに対応して、十分な備えを行わなければならないと考えている。万が一、市内施設で感染者が出た場合は、事例ごとに保健所が判断し、必要な方にPCR検査等を実施する予定となっている。

意見書提出

(問) 市民の安心感向上が今最も大切であり、市長の決断をぜひお願いしたい。

9月定例会において、「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」を関係行政庁へ提出することを決定しました。

9月定例会の本会議日程と傍聴者数

月日	内容	傍聴者数	月日	内容	傍聴者数
9月1日(火)	開会・上程・報告・採決・付託	4人	9月4日(金)	一般質問	13人
9月2日(水)	一般質問	4人	9月7日(月)	決算総括質疑	0人
9月3日(木)	一般質問	7人	9月15日(火)	上程・報告・採決・閉会	1人
計					29人

意見書提出

9月定例会において、「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」を関係行政庁へ提出することを決定しました。

ているため、特定の人が定期的かつ優先的に行うものではないと考えている。高齢者施設などの対応については、国の方針の動向を見て検討したいと考えている。



主な質疑

一般財団法人那須烏山市農業公社の経営状況説明書の提出について

議員 収益事業を株式会社アグリ那須烏山にしたのであれば、農業公社は解散して、公益事業は農政課が担えばいいのではないかと。農業公社は本当に必要なか何う。

議員 農業公社については、株式会社アグリ那須烏山に一本化していくことが普通であると考えている。状況を見ながら、将来的には一本化できるような方向にしていきたい。

議員 昨年の台風19号の洪水により、株式会社アグリ那須烏山は飼料用稲(WCS)9950ロールを流出して、約600万円の損失を出した。なぜ直接資金を投入しなかったのか何う。

議員 飼料用稲(WCS)の減額は、理事長の給与等で調整をしたため資金を出さなかった。

令和元年度健全化判断比率及び資金不足比率について

議員 経常収支比率については91.7%であるが、自主財源比率はわずかに34%、依存財源は66%である。本市の財政運営上に不安はないのか何う。

9月定例会での議員質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。

議員 自主財源比率33%は、県内でも下位であるため、徐々に改善していきたい。今回は、基金も漸増しており、当面の財政運営については心配ないと思われる。引き続きシビアな目で見ていきたい。

議員 令和2年度那須烏山市一般会計補正予算(第4号)について

議員 保健福祉センターの空調設備1億6300万円の概要について何う。

議員 保健福祉センターは、本市における保健衛生対策の中枢施設である。当該センターの感染症予防としての利用を考えた結果、感染症対策による地方創生臨時交付金を活用して、社会福祉協会の空調設備の整備を行うこととした。

議員 観光素材のデジタルコンテンツ化による誘客推進を図るため、スマートフォンを片手に市内を自由に周遊・散策できるシステムの構築をするものである。

議員 プレミアム付商品券は、新型コロナウイルス感染症の影響により経営状況の悪化している小売店や飲食店などを支援する目的であるが、大型店は除外するのか何う。

議員 事業者については、今後、商工会で募集していくことになる。プレミアム付商品券については、2種類の券を1冊にして発行する予定である。一つは、プレミアム分を地元商店の専用券としたもの、もう一つは、地元商店と大型店を含めた共通券としたものである。



空調設備の整備を行う保健福祉センター

議員 観光振興費は、今回570万円を増額しているが、その用途について何う。

議員 昨年12月の一斉改選時には11名の欠員があったが、自治会等と調整し、7名補充でき、現在4名の欠員がある。現在の欠員地区は、烏山地区のたごの国道西側地区、金三・南の南1丁目地区、野上舟戸・野上台団地区、大桶上・白久地区の計4地区。欠員地区の活動は、地元自治会や隣接する地区の民生委員の協力を得ながら行っているが、欠員の地区の解消に向けて今後も地元自治会と調整を進めていく。

議員 ピロリ菌検査受診状況で、対象者207名に対し受診者が15名であったが見解を何う。

議員 胃がんの発症を予防するとともに、若者の健康に対する関心を高めるために、令和元年度から開始した。207名の対象者中60人程度の受診を見込んでいたが、15名が受診して陽性者は2名であった。受診者が少なかった理由として実施期間が12月から2月と短く、周知不足が考えられる。また、対象者が20歳

というところで、どうしても健康に関する意識が低くなっていることも要因の1つと考えられるが、2名の陽性者が見つかったことは有意義なことである。

今年度は、検査を7月から2月末までの期間で実施している。今後もPRの充実を図り、若い世代からの健康づくりに取り組んでいく。

議員 市長は、アーチェリーのまち那須烏山を指すと力強く答弁をされたが、特に令和元年度、アーチェリーのまち那須烏山を目指して、どのような取組が行われたのか何う。

議員 市長は、アーチェリーのまち那須烏山を指すと力強く答弁をされたが、特に令和元年度、アーチェリーのまち那須烏山を目指して、どのような取組が行われたのか何う。

市長は、アーチェリーのまち那須烏山を指すと力強く答弁をされたが、特に令和元年度、アーチェリーのまち那須烏山を目指して、どのような取組が行われたのか何う。



令和元年度決算審査

令和元年度一般会計、6特別会計、水道事業会計の決算については、所管の常任委員会に付託され、それぞれの常任委員会で慎重な審査が行われました。

ここでは、各常任委員会の審査の中で出された意見等で本会議において報告された内容を掲載します。

総務企画常任委員会

- ◎所管する課等
 - 総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会

◎コロナ禍における新しい生活様式に対応するためにも、時代に合わせた情報通信技術を積極的に活用し、事務の利便性向上や効率化、市民サービスの向上に取り組みされた。

◎ふるさと応援寄附金は、件数、金額ともに前年度比で増加している。今後も、地域の特長ある返礼品の拡充を図り、寄附の増加に向けさらに努力をされたい。

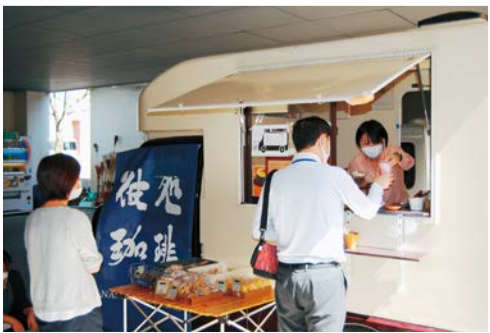
◎第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間が令和元年度で終了したが、第2期の取組に当たっては、毎年度、重要業績評価指標(KPI)の目標値を意識して事業を実施し、目標を確実に達成できるよう努められたい。

◎計画的な職員研修の実施により人材育成に努めているが、情報通信技術の急速な進化や時代の変化



アーチェリーの体験会の様子

議員 市内の各種イベント等で、アーチェリーの体験会を実施したほか、チラシ、のぼり、横断幕等を作成し、市のホームページでも、キャラクターを活用した動画の配信にも努めている。また、市の広報紙にも掲載して、アーチェリーについて啓発しているところである。



起業した元地域おこし協力隊の移動販売

総務課

に的確に対応し、効果的・効率的に事務を執行するため、さらにICTリテラシーを向上させる研修の実施も検討されたい。

○未利用財産は市民共有の財産であることから、将来の利用可能性等も踏まえた上で、公平、公正で透明性のある利活用に取り組まされたい。

○新たな防災情報伝達システム「防災Infoなすからすやま」の運用を開始したが、登録者が少ない状況にあるため、登録者を増やすよう様々な機会を捉えて周知するとともに、利用者の多いLINE等の活用も視野に入れ、市内における防災情報網の人口カバー率向上を図られたい。

○市県民税や国民健康保険税の徴収率は県内上位にあるものの、固定資産税滞納繰越分における大口滞納により、市税合計の徴収率は著しく低い状況であるため、市民に不信感や不公平感を与えないよう、徹底した滞納整理を行い、徴収率向上に努められたい。また、時代のニーズに合わせ、キャッシュレス決済による納付方法の充実を図られたい。

○市民課と接する機会が多い課であることを自覚し、来庁者対応や接遇向上に心がけられていることを評価する。更に市役所の顔として今後も全職員の模範となるよう接遇向上に努められたい。

文教福祉常任委員会

○所管する課
市民課、健康福祉課、
こども課、学校教育
課、生涯学習課

市民課

○市民と接する機会が多い課であることを自覚し、来庁者対応や接遇向上に心がけられていることを評価する。更に市役所の顔として今後も全職員の模範となるよう接遇向上に努められたい。

○マイナンバーカードに関する市民からの問合せ等に対して丁寧な対応を行い、制度の普及啓発、交付に努められたい。

○健康マイレージ事業の参加者が前年度に比べ減少しているが、健康増進を推進するためには参加者を積極的に増やす工夫が必要と感じられるため、魅力ある景品の検討や周知等を図られたい。

健康福祉課

○インターネットを利用した予約システムの導入などにより、がん検診の受診者は前年度に比べると増加しているが、受診率は依然として低い。集団健診受診の際に、自己負担はあるが、出来るだけがん検診も受診し、がんの早期発見・早期治療につながるよう更なる周知に努められたい。

こども課

○ここに保育園は、浸水想定区域にあり有事の際は危険であるため、つくし幼稚園との統合、再編について速やかに進められたい。

○若者交流事業は、各種団体に補助金を出すだけでなく、広く交流できるよ

うに市が直接、民間企業に働きかけ、協力して開催するなど、出会いの場づくり、きっかけづくりを推進されたい。

学校教育課

○中学生海外派遣事業は、国際的な視野の拡大と国際協調の精神を養うという目的を実現するため、希望者が多く出ることが望ましい。更に英語力を高める充実した指導を行うよう意識を高められたい。また本市からの派遣のみならずメノモニー市からの来訪は、派遣以上の波及効果が見込まれると思われるため、相互交流出来るよう調整されたい。

○スーパerteacher育成推進事業を実施してきたことよって、小学校は全国学力・学習状況調査で全国平均を上回る成果が出てきているため、将来に向け更に成果が出るよう、教員の意識改革、授業の力量が上がるよう努められたい。

生涯学習課

○図書館事業については、学校や保育園、幼稚園と協力し、利用者が増えるような取組や、施策などような取組や、施策などを指定管理者自ら提案出来るよう運営指導を図られたい。

農政課

○なすからブランド認証制度に登録された農産物の活用について、地元生産者や販売者と連携を図りながら、6次産業化や付加価値向上対策等を踏まえた「戦略」を持って取組を推進されたい。

○都市農村交流について、豊島区との交流事業を通じて本市の魅力を感じてもらおうだけでなく、農産物を活用した様々な交流が図れるよう事業の見直しを検討されたい。

○八溝そばについて、ブランド化の推進に向け生産拡大と安定供給が図れるよう、生産農家のより一層の支援に努められたい。

都市建設課

○空き家等情報バンク制度に登録してある農地付物件について、新規就農の



長者ヶ平官衙遺跡で行われたイベント

内板を作成するなど市内外に情報発信し、周知されたい。

経済建設常任委員会

○所管する課等
農政課、商工観光課、
都市建設課、上下水道
課及び農業委員会

支援や遊休農地の解消を図るとともに、定住・移住を促進できるよう関係各課と連携し、制度の周知及び活用に努められたい。

商工観光課

○なすからブランド認証制度について、商品開発にこだわらず地場産品の中でも優れた商品の掘り起こしを行い、付加価値の向上及び販路拡大の支援に努められたい。

○観光協会の機能強化について、「経営改善、運営体制及び機能強化に必要な抜本的見直しに向けた改善勧告」に基づき、全体的な改善に向けた取組が進められており、今後とも、これまでの観光協会とは異なる新たな改革や自立に向けた支援に努められたい。

上下水道課

○水道事業の有収率は64.51%と低位であり、令和元年度に策定した水道管路更新計画に基づき老朽化した管路の更新を図り、有収率の向上に努められたい。

都市建設課

○ふれあいの道づくり事業について、地域住民のニーズに定めるためにも必要な予算を確保し、地域住民と協力を図りながら、より一層の生活道路の環境向上に努められたい。

○市道等の維持管理について、人員や機材の充実を

図るとともに、地域住民と連携し危険箇所の把握に努め、利用者の安全確保のために道路環境整備を推進されたい。



経済建設常任委員会の現地視察(市道西野三箇線)

○橋梁等の維持管理について、令和元年度に策定した道路施設長寿命化修繕計画に基づき、有利な補助金等を活用し財源の確保に努められたい。

○水道事業について、市民生活の根幹をなす重要なライフラインであり、市民に安心・安全な水の供給を図るためにも技術者の確保や技能の継承に努められたい。

上下水道課

○水道事業の有収率は64.51%と低位であり、令和元年度に策定した水道管路更新計画に基づき老朽化した管路の更新を図り、有収率の向上に努められたい。

○下水道事業について、烏山中央処理区の水洗化率が37.79%と漸増傾向にあり、担当課の普及啓発の努力は見られるが、南那須処理区91.17%、興野地区87.25%と比較すると格差がある。更なる

水洗化率の向上が図れるよう下水道の加入促進に努めるとともに、区域外においては、今後も合併浄化槽の普及啓発を図り、環境整備の向上に努められたい。

新型コロナウイルス感染症拡大防止について

新型コロナウイルス感染症が未だ拡大傾向にあるため、那須烏山市議会においては、6月定例会に引き続き、3密を出来る限り避ける等の感染予防対策として、次の対策を実施しました。

- ・議員、市執行部職員及び議会事務局職員は、全員マスク着用。
- ・議場内の換気を約1時間ごとに実施。
- ・議案等に関しては、事前の議員全員協議会で市執行部から詳細説明を受け、本会議における質疑応答の時間を短縮。
- ・一般質問では答弁を含めて通常最大75分のところ45分に変更。

また、9月定例会から議長席、質問者席及び演壇にアクリルパーティションを設置し、飛沫感染防止に努めました。



飛沫感染防止のために設置されたアクリルパーティション

9月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)

議案等		審議結果	議案等		審議結果
報告第1号	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	報告	議案第9号	那須烏山市運動施設設置、管理及び使用料条例の一部改正について	可決
報告第2号	一般財団法人那須烏山市農業公社の経営状況説明書の提出について	報告	議案第1号	令和2年度那須烏山市一般会計補正予算(第4号)について	可決
報告第3号	令和元年度健全化判断比率及び資金不足比率について	報告	議案第2号	令和2年度那須烏山市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案第10号	那須烏山市教育委員会委員の任命同意について	同意	議案第3号	令和2年度那須烏山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案第11号	那須烏山市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	同意	議案第4号	令和2年度那須烏山市水道事業会計補正予算(第1号)について	可決
議案第5号	那須烏山市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化を図るための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	可決	議案第12号	令和2年度農地・農業用施設災害復旧事業の施行について	可決
議案第7号	那須烏山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	議案第13号	令和元年度那須烏山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議案第8号	那須烏山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決			

(起立による採決)

○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席

議案等	審議結果	議員別賛否一覧																	
		青木敏久	興野一美	堀江清一	荒井浩二	福田長弘	村上進一	矢板清枝	滝口貴史	小堀道和	相馬正典	田島信二	渋谷由放	久保居光一郎	沼田邦彦	中山五男	高田悦男	平塚英教	
議案第6号	那須烏山市国民健康保険診療所設置、管理及び使用料条例の一部改正について	○	○	●	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	令和元年度那須烏山市一般会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	令和元年度那須烏山市国民健康保険特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	令和元年度那須烏山市熊田診療所特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	令和元年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	令和元年度那須烏山市介護保険特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	令和元年度那須烏山市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号	令和元年度那須烏山市下水道事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第8号	令和元年度那須烏山市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※掲載は採決順で久保居議長は表決に加わらない。※認定第1号～第8号は、上程・質疑の後、関連する常任委員会に付託され、最終日に採決。

9月定例会において 審査された請願・陳情

番号	件名	紹介議員	審査結果
陳情書第1号	日本政府及び国会に対し、「日米地位協定の抜本的見直しを求める」よう意見書提出を要請する陳情書	なし	不採択



感謝状を受け取った田島議員(左)、沼田議員(右)



表彰を受けた平塚議員(中央)、渋谷議員(左)、田島議員(右)

平塚英教議員は議員在職25年、田島信二議員、渋谷由放議員は議員在職10年の表彰を全国市議会議長会から受けました。また、沼田邦彦議員(前議長)、田島信二議員(前副議長)には栃木県市議会議長会より感謝状が贈られました。

表彰

12月定例会は、11月30日(月)開会予定です

正式な日程は11月24日(火)に開催される議会運営委員会で決定されます。

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

(TEL 0287-88-7114)

(全会一致)

議案等	審議結果
議案第1号 令和2年度那須烏山市一般会計補正予算(第3号)について	可決

7月29日(水)に招集され、市長より提出された議案は全会一致で可決されました。その議案は左記のとおりです。

7月臨時議会

あしがき

本紙の取材で和紙の里を訪れた。来春に卒業を控えた烏山高専学校の生徒が程村紙の説明を受け、万感交わる面持ちで自らの卒業証書を漉いていた。

本来、紙漉きは冬の季語だと言う。完成に10工程以上の手間と一週間ほどの暇を費やし、一枚の烏山和紙となる。耐久性と保存性に優れ、厚みがあり、その和紙特有の風格からして「厚紙の至宝」と言われるその伝統的な紙作りは、原材料である那須楮の栽培も含めれば、やはり一朝一夕ではならない。その技術の錬磨は、そもそも冬の農作業が出来ない時期に農家が副業として行っていたものだ。

コロナ禍において本来の暮らしが制限される日々の中でも、我々は生活を止めるわけにもいかない。むしろ、こんな時代だからこそやれること、やるべきことがある。冬の厳しさにおいて自然も人も力を蓄え、やがて訪れる春を信じ、待つ。環境に適応してきたからこそ、伝統と今がある。立冬が近い。卒業を控えた学生も、今を活かし、蓄えた力を未来でカタチにするため、天行健にあらずして、自強不息で春に花を咲かせて欲しい。(荒井浩二議員)

